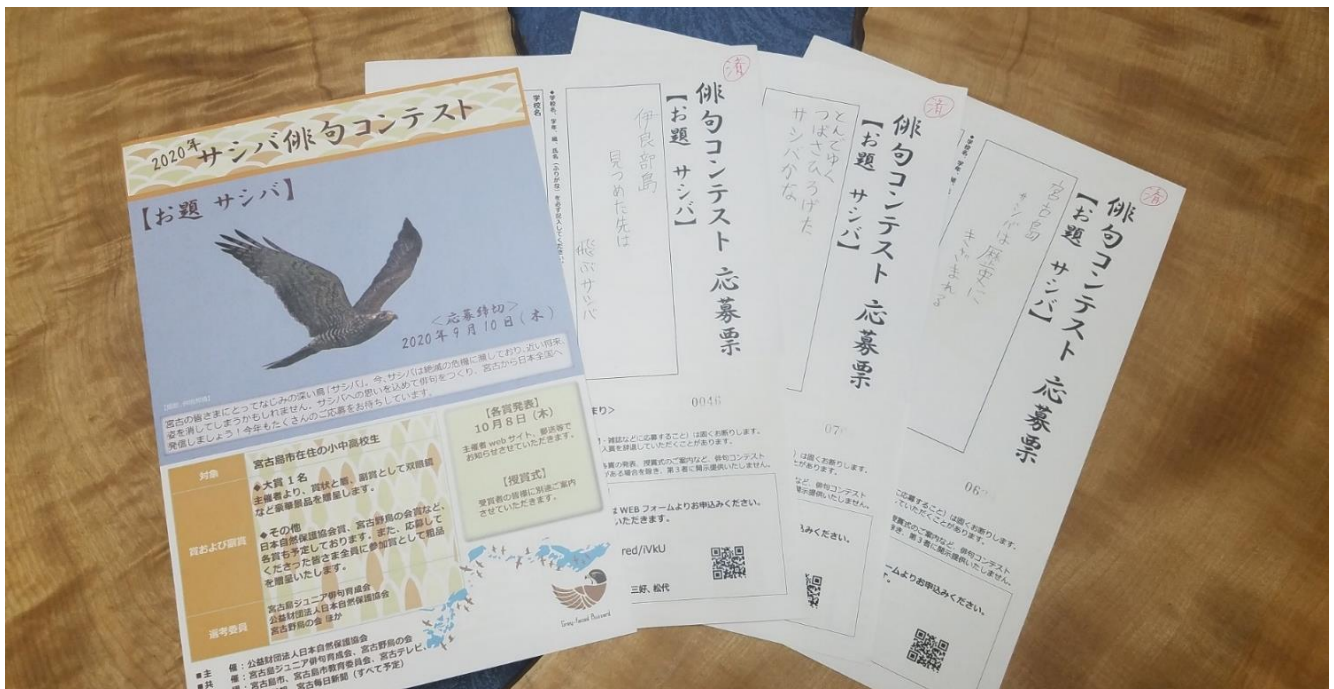


## 絶滅危惧種の渡り鳥・サシバへの思いを込めた 「2020年 サシバ俳句コンテスト」入賞作品発表

宮古島市の小中高生895人の応募から大賞はじめ入賞作品を発表！

- 宮古島市在住の小中高生を対象に「2020年 サシバ俳句コンテスト」をこの夏も開催。島内 26校 895人から応募。
- 大賞はじめ、日本自然保護協会賞、宮古野鳥の会賞、三菱地所賞、ラッシュジャパン賞の各賞と佳作24作品を決定。
- サシバは、日本の里山で繁殖し、冬は東南アジアに渡りをする絶滅危惧種のタカ。沖縄県の宮古諸島は、サシバの重要な中継地。
- 日本自然保護協会ではサシバの繁殖地（栃木県市貝町）、中継地（沖縄県宮古島市）、越冬地（フィリピン・ルソン島）で国際的なサシバの保全活動を進めている。



▲応募作品の一部

公益財団法人日本自然保護協会（会員約 2 万 4 千人、理事長：亀山 章）は、宮古島市在住の小中高生を対象に「サシバ俳句コンテスト」をこの夏も開催しました。その結果、島内 26校 895 人からの応募をいただきました（昨年 は 22 校 751 人）。

### ■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 自然のちから推進部：三好 Tel: 080-4878-2662 Email: miyoshi@nacsj.or.jp

## ■ 「サシバ俳句コンテスト」とは？

沖縄県の宮古諸島は、絶滅の危機に瀕している渡り鳥「サシバ」の重要な中継地で、毎年、サシバが飛来します。

日本自然保護協会は、サシバとその生息地の保全活動に力をいれており、その一環としてサシバの繁殖地として有名な栃木県市貝町で2019年5月に国際サミットを開催しました。今後、中継地の宮古島、越冬地のフィリピン・ルソン島や台湾でも同サミットを開催する予定です。

この国際サミットにあわせ、宮古島市の子どもたちにサシバへの思いを俳句にしてもらい全国に届けたいと考え、2018年より市内の小中高校生を対象に「サシバ俳句コンテスト」を開催しています。

その結果、今年は小学校14校、中学校11校、高校1校、から全895件の応募があり、大賞はじめ入選句を決定しました。

作品応募期間：7月19日～9月10日

対象：宮古島市内の小中高生

選考委員：宮古島ジュニア俳句育成会、宮古野鳥の会、三菱地所株式会社、株式会社ラッシュジャパン、公益財団法人日本自然保護協会

主催：公益財団法人日本自然保護協会

共催：宮古島ジュニア俳句育成会、宮古野鳥の会

協力：三菱地所株式会社、株式会社ラッシュジャパン、下地島エアポートマネジメント株式会社

後援：宮古島市、宮古島市教育委員会、宮古テレビ、宮古新報、宮古毎日新聞

## ■ 「2020年 サシバ俳句コンテスト入賞作品」 について

895 件の応募作品の中から選定した入賞作は下記になります。

### ◆ 大賞

希望のせ五輪を描く鷹柱  
上野中学校 3年 狩俣遥加

### ◆ 日本自然保護協会賞

おじいさんサシバのはなしいっぱいだ  
城辺小学校 1年 ねまかのん

### ◆ 宮古野鳥の会賞

夕やけの空にテンテンサシバかな  
下地小学校 6年 砂川夏穂

### ◆ 三菱地所賞

澄み渡る海にサシバの影ひとつ  
宮古高校 2年 奥平そら

### ◆ ラツシユジャパン賞

白球と重なるサシバ高々と  
伊良部島小学校 4年 多和田琥太

## ◆佳作

太陽と空のかなたへサシバ舞う	宮古高校	1年	島尻琉愛
夕焼けで輝く翼鷹の舞	宮古高校	1年	平良誉子
風の音輝く空にサシバ飛ぶ	宮古高校	1年	前泊華帆
駅伝の走る靴音渡り鳥	宮古高校	2年	福原礼大
グラウンドに響き渡るや鷹の声	宮古高校	2年	大内芽衣
飛ぶサシバ吞まれ溶けてく水平線	上野中学校	3年	緑川永遠
銀翼のサシバの群れが南行き	上野中学校	1年	新里尚幸
真つすぐに夕焼け向かつてさしば飛ぶ	上野中学校	2年	上地乃愛
サシバ飛ぶ伊良部の橋を横ぎつて	上野中学校	2年	上里脩斗
サシバの瞳宮古の景色黄金色	平良中学校	2年	平良啓太
サシバ舞う平和の空へ天高く	平良中学校	3年	加持楽空
大空にサシバの声舞う宮古島	西辺中学校	2年	砂川実羽音
夕暮れに飛びゆくサシバとランニング	久松中学校	1年	平戸鳳雅
サシバたちちよつこの木でひとやすみ	伊良部島小学校	1年	伊志嶺光晴
タカばしらとんであそんでタぐれに	伊良部島小学校	5年	玉元陽登
たかばしら伊良部大橋さらに映え	伊良部島小学校	5年	砂川鈴夏
高く飛べ伊良部の風になりながら	伊良部島小学校	6年	手登根芭奈
宮古島サシバと共に開く未来	伊良部島中学校	7年	下地柚菜
力強く羽ばたくサシバ未来へと	上野小学校	6年	緑川詩乃風
んみゃーちサシバよるこごみやこじま	鏡原小学校	2年	川満志真
みやこじまサシバがサンバおどつてる	平良第一小学校	1年	ながみねなぎ
サシバとぶわたしのゆめとおおそらえ	久松小学校	3年	まえどまりけい
おおそらをサシバといっしょにとびたいなあ	久松小学校	1年	ともしりたくま
秋の夕伊良部の木々に休むタカ	南小学校	5年	宮國媛乃

※ 新型コロナウイルスの感染症拡大のリスクを考慮した結果、誠に残念ながら授賞式の開催は中止させていただきますことになりました。受賞者の皆様につきましては、賞状ほか副賞の発送をもって表彰に代えさせていただきます。

何卒ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## &lt;参考&gt;

サシバについての解説や、日本自然保護協会のサシバの保全活動に関する詳細は下記当会ウェブサイトをご覧ください。

[goo.gl/ddhPdp](http://goo.gl/ddhPdp)

## 公益財団法人 日本自然保護協会

自然保護と生物多様性保全を目的に、1951年に創立された日本で最も歴史のある自然保護団体のひとつ。会員2万4千人。ダム計画が進められていた尾瀬の自然保護を皮切りに、屋久島や小笠原、白神山地などでも活動を続けて世界自然遺産登録への礎を築き、今でも日本全国で壊れそうな自然を守るための様々な活動を続けています。

「自然のちからで、明日をひらく。」という活動メッセージを掲げ、人と自然がともに生き、赤ちゃんからお年寄りまでが美しく豊かな自然に囲まれ、笑顔で生活できる社会を目指して活動しているNGOです。山から海まで、日本全国で自然を調べ、守り、活かす活動を続けています。

<http://www.nacsj.or.jp/>

**本リリースに関するお問合せ**

日本自然保護協会 自然のちから推進部：三好

Tel: 080-4878-2662 Email: miyoshi@nacsj.or.jp

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F



日本自然  
保護協会

The Nature Conservation  
Society of Japan